

関 (かん)	10
夢 (ゆめ)	14
洗心 (せんしん)	18
無事 (ふじ)	20
看脚下 (かんきやつか／脚下を看よ)	24
喫茶去 (きつきこ)	28
主人公 (しゅじんこう)	32
守破離 (しゅはり)	36
吹毛劍 (すいもうけん)	40
咄咄 (とつとつ)	44
破草鞋 (はそうあい)	48
放下着 (ほうげじゃく)	52
無尽蔵 (むじんぞう)	56
一期一会 (いちごいちえ)	60
撃竹一声 (げきちくいつせい)	64
行雲流水 (こううんりゅうすい)	68
千里同風 (せんりどうふう)	72
拈華微笑 (ねんげみしょう)	74
和敬清寂 (わけいせいじやく)	80
一華開五葉 (一華五葉を聞く)	84
一無位真人 (一無位の真人)	88
雲收山岳青 (雲収まりて山岳青し)	94
開門落葉多 (門を開けば落葉多し)	98
閑坐聽松籟 (閑坐して松籟を聴く)	102
壺中日月長 (壺中日月長し)	106
歲月不待人 (歲月人を待たず)	110

- 山中無曆日（山中曆日無し） 114
- 室閑茶味清（室閑かなれば茶味清し） 118
- 杓底一残水（しゃくていいちぎんすい） 120
- 春色無高下（春色高下無し） 122
- 春來草自生（春來たらば草自ずから生ず） 124
- 松無古今色（松に古今の色無し） 128
- 清流無間斷（清流間斷無し） 132
- 大道透長安（大道長安に透る） 136
- 竹有上下節（竹に上下の節有り） 140
- 直心是道場（じきしんこれどうじょう） 144
- 庭前柏樹子（庭前の柏樹子） 148
- 日日是好日（にちにちこれこうにち／にちにちこれこうじつ） 154
- 白圭尚可磨（白圭尚磨くべし） 158
- 万里一条鉄（万里一条の鉄） 162
- 本來無一物（ほんらいむいちもつ） 166
- 葉葉起清風（葉葉清風を起こす） 172
- 山是山水是水（山は是れ山水は是れ水） 176
- 明歴露露堂（めいれきれきろどうどう） 180
- 三級浪高魚化龍（三級浪高くして魚龍と化す） 184
- 霜葉紅於二月花（霜葉は二月の花よりも紅なり） 188
- 南山打鼓北山舞（南山に鼓を打てば北山に舞う） 194
- 話尽山雲海月情（話し尽くす山雲海月の情） 196
- 教外別伝 不立文字（きょうげふたつでんふりゅうもんじ） 200
- 諸惡莫作 衆善奉行（しよくあくまくさしゆぜんぶぎょう） 204

・ 禪語の掲載順は、文字数と漢字の音読みによる五十音順としている。  
 ・ 禪語の漢字表記や読み下しは『充実茶掛の禪語辞典』（淡交社）を基本とした。